

第4回  
定例会

## 一般質問

第4回定例会の一般質問は、12月13日、14日、15日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問をしました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

写真下部の2次元コードをスマートフォンのカメラ等で読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。ぜひご覧ください！



阿久津 佳子 議員



## 市民サービス向上について

**問** 交通弱者の移動手段について①公的介護給付（介護保険・障害福祉サービス）等において要介護や障害者手帳の等級により使えるサービスに開きがあり、はざまニーズや課題が山積している。各種移動手段の拡充、補完において介護・福祉タクシー事業者や福祉有償運送事業者のデマンド交通「愛・あい号」参入や福祉車両導入が必須と考える。②課題解決や利便性向上の

方策として、ローカルルールの上乗せ、持続可能な公共交通の確立、利用する側の市民が事業存続のために日頃から市内公共交通を可能な限り利用する習慣や意識づけ、利用拡大を促す周知やPRが必要と考える。以上、所見を伺う。

**答（市民部長）** ①「愛・あい号」への福祉事業者参入等も視野に入れているが、車両の導入について事業を撤退しているケースがある。また、既存事業者との調整、運賃形態等の考察など、クリアすべき課題が多いため、慎重に検討を重ねる必要があると考えている。②ローカルルールの採用については、多くの課題があるため、利用者はもちろん事業者等の意見や先進事例を

参考に福祉部門と協議し、課題解決を図るよう努力していく。公共交通のPR等については、その利用に慣れ親しんでもらうため、運転免許証を返納し、申請された方に1万2,000円分の公共交通チケットを交付している。また、ぐるりん号無料の日を実施した。今後も公共交通を身近に感じてもらえるよう、さまざまな手法でPRしたい。



4月から市内全域運行となるデマンド交通「愛・あい号」